

平成30年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人柔道大会 要 項

- 1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 平成30年9月29日(土) 7時00分 開場
7時50分 集合・計量
8時30分 審判会議
8時45分 開会式
9時10分 試合開始
- 4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 大会役員
専門部長 松本 明良(宮郷中)
専門副部長 菅沼 明広(境南中)
専門委員長 三輪 洋介(宮郷中)
委 員 星野 治道(第一中) 竹林 千晴(第一中) 新井 聡明(第二中)
中澤 應(第三中) 木村 弘枝(第三中) 高橋 哲(第四中)
松本 誠(第四中) 芳賀 武史(殖蓮中) 服部 清子(殖蓮中)
今泉 敦子(宮郷中) 坂部 洋平(赤堀中) 諸岡 知晃(赤堀中)
木暮 寛幸(あずま中) 大崎 知里(あずま中) 佐藤 康(境南中)
中寫祐一郎(玉村中) 梅山 千春(玉村中) 渡邊 健斗(玉村中)
柿沼 翔太(玉南中) 野口 高弘(玉南中)
- 6 審判規定
国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。
- 7 選 手
(1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。
(2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
(5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。
(6)個人戦は中体連柔道部事前調査により、1または2階級で行うものとする。
ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。

8 試合時間

- 《団体戦》 男子：予選リーグ 2分 決勝トーナメント 3分
女子：リーグ 3分
《個人戦》 3分

9 試合方法

《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1) 男子は1組を4校または5校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校によるトーナメント戦を行う。女子は、4校によるリーグとする。

(2) リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4) トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

(1) 男子は2階級、女子は1階級でトーナメント戦を行う。

(2) 個人戦における判定基準は、「技有」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

- 10 表彰 団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校・3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級の上位4名に賞状を授与する。

11 代表資格

《男女団体戦》

男子は優勝校、第2位校、第3位校の2校の計4校、女子は優勝校、第2位校、第3位校の計3校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

《男女個人戦》

県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

(1) 男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

(2) 決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

《個人戦》

(1) 得点差がないときはGSを行い、必ず勝敗を決する。

13 その他

(1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5～10cm下に下記のように付ける。

(2) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用する。

(女子の黒帯については、白線入りの帯も可とする。)

(3) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)

③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

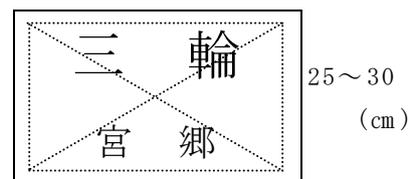
(5) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。

(6) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学 校 名
					補 補
					員 員
(模造紙 1/4)					

(ゼッケン) 30～35(cm)



- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。